

当院における近年の感染対策活動

高島俊介、佐藤幸治、今西 望、挽野慎之介、高橋さくら、庄司裕太、柏谷奈津希、
武田宜子、平塚広樹、村上 亨、佐々木 亘、里吉清文*、宮形 滋*、原田 忠*
社会医療法人明和会中通総合病院 血液浄化療法部、同 泌尿器科*

Recent Actions for Infection Control in Nakadori General Hospital

Shunsuke Takashima, Koji Sato, Nozomi Imanishi, Shinnosuke Hikino,
Sakura Takahashi, Yuta Shoji, Natsuki Kashiwaya, Noriko Takeda
Hiroki Hiratsuka, Tohru Murakami, Wataru Sasaki
Kiyofumi Satoyoshi*, Shigeru Miyagata*, Tadashi Harada*
Division of Blood Purification and Department of Urology*
Nakadori General Hospital

<緒言>

当院透析室は、外来患者、入院患者共ワンフロアで透析を行なっている。また血液を扱う部署であるため感染対策が重要である。当院は移転してから3年が過ぎた。新病院に移転してからの感染の取り組み、活動を報告する。

<対象と方法>

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン四訂版」を参考に行なってきた感染対策、使用経験を報告する（図1）。

感染予防のために必要な場面において手指消毒を行なう。手指が汚れている場合には石鹸と流水で手を洗う。手指が目に見えて汚れていない場合には、アルコールを基剤とする速乾性手指消毒薬を用いて手指消毒する。かわりに石鹸と流水で手を洗っても良い。

穿刺、止血、カテーテルへのアクセスや管理創部の処置といった血液などの飛散が予想される場合は、ディスポーザブルの非透水性ガウンまたはプラスチックエプロン、サージカルマスク、ゴーグルあるいはフェイスシールドを着用する。

透析ベッドの柵やオーバーテーブル、椅子などの環境表面、および透析装置外装は透析毎に洗浄（清拭）し適切な消毒薬を用いて消毒する。

図1 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン四訂版抜粋

当院スタッフに対し

①携帯用手指消毒剤の携行

②穿刺、返血時のゴーグル着用の徹底

透析使用機器、物品に対し

③清拭シート：ペルオキソー硫酸水素カリウム（ルビスタ®）の導入

<結果>

①携帯用手指消毒剤の携行

以前は固定型的手指消毒剤を設置していたが、1作業ごとにこまめに手指消毒を行なえるように個人で持てる携帯用手指消毒剤を携行することとした。その結果個人で持ったほうが使用量は増えるという結果が得られた（図2）。

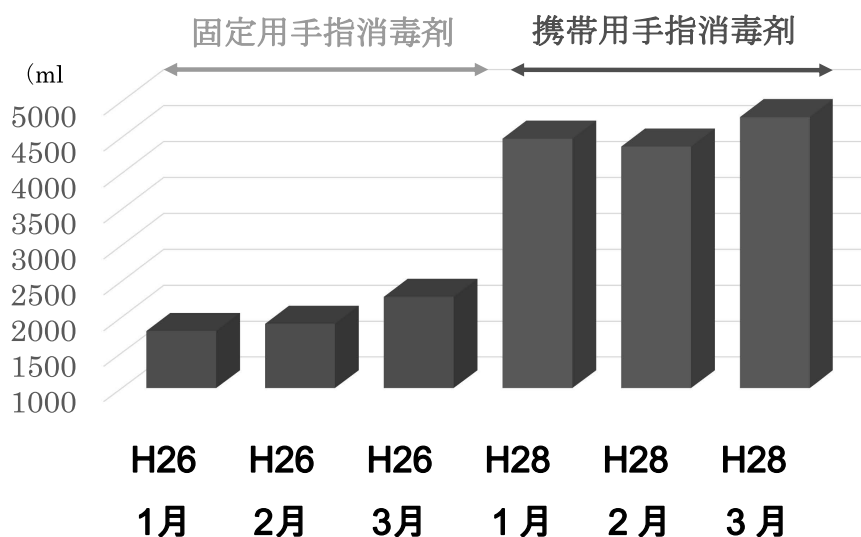


図2 手指消毒剤使用量の変化

②穿刺、返血時のゴーグル着用の徹底

以前よりゴーグルを使用するよう指導していたが強制ではなかった。全員使用してもらうように、なぜゴーグルを使用していなかったかアンケートを実施した。その結果

- ・面倒
- ・見えにくい
- ・メガネの上からゴーグルを着用すると邪魔だ

などの意見が聞かれた。そこで面倒との意見にはゴーグルの重要性を学習会で説明、見えにくい、メガネの上からゴーグルを着用すると邪魔だとの意見には、2種類のゴーグルを用意し使いやすい方を選択してもらうこととした（図3）。

現在では穿刺者、穿刺介助者のゴーグル着用率100%となっている。

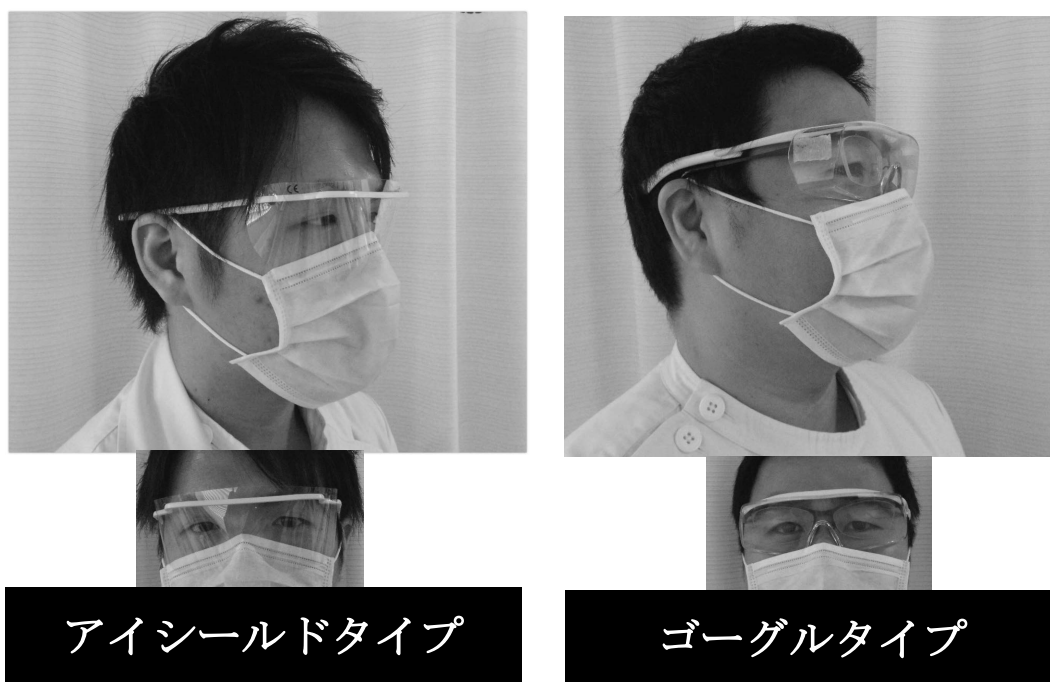


図3 ゴーグル

③清拭シート：ペルオキソー硫酸水素カリウム（ルビスタ®）の導入

以前は透析機器外装の消毒は第4級アンモニウム塩化合物清拭シートを使用していた。

しかし使用中に透析機器の破損がみられた。そこで0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭後、水拭きすることとしたが、準備や機器の2度拭きで手間がかかるとの意見がきかれたため今回感染ガイドラインにも適切な消毒薬として載っているペルオキソー硫酸水素カリウム（ルビスタ®）を導入することとなった。ルビスタは次亜塩素酸の活性本体としながらも金属腐食が少なく、塩素臭がないといわれている（図4）。

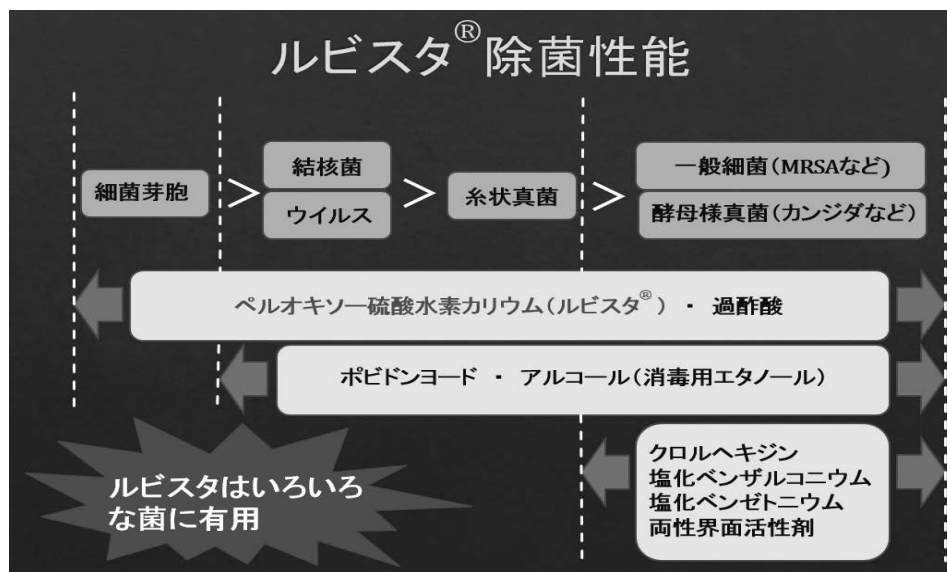


図4 ルビスタの除菌性能

<考察>

- ・個人が意識すれば手指消毒剤の使用量増加や、ゴーグル使用率100%等の結果が得られた。これは個人が感染の重要性を認識し意識して行ったためだと思われる。
- ・今回、ルビスタで培養やATP測定などを行って評価していなかったため、今後の検討課題である。

<結語>

- ・今回の取り組みにより消毒剤の使用量が増え、ゴーグル着用率が100%になった。また消毒剤を検討した結果当院ではルビスタが適していた。

<文献>

- 1) 公益社団法人 日本透析医会：透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン（四訂版）：14-63、2015.